

記録書 No.1

(2018/04/02 ~ 2018/04/23)

2018/4/20

吉田 修太郎

1 前回ミーティングからの指導・指摘事項

- (1) 誰かの話を聞くとときは、後で質問やコメントができるようにする。(4/4, 104 号室, 乃村先生)

2 実績

2.1 研究関連

- (1) 2018 年度 B4 新人研修課題に関する項目
 - (A) Debian のインストール (100% +100%)
 - (B) Linux カーネルの再構築 (100% +100%)
 - (C) システムコールの実装 (100% +100%)
 - (D) システムコール実装の手順書作成 (80% +80%)
 - (E) Ruby による SlackBot プログラムの作成 (15% +15%)
 - (F) Ruby による SlackBot プログラムの報告書作成 (0% +0%)

2.2 研究室関連

- (1) (4/2) 平成 30 年度 SWLAB 新 B4 ガイダンス
- (2) (4/3) 第 349 回 New 打ち合わせ
- (3) (4/3) Web 勉強会
- (4) (4/3) rbenv 勉強会
- (5) (4/4) Git 勉強会
- (6) (4/4) 乃村研お花見
- (7) (4/18) 第 350 回 New 打ち合わせ
- (8) (4/19) 乃村研ミーティング

2.3 大学関連

- (1) (4/9, 10, 16, 17) 非手続き型言語

3 詳細および反省・感想

3.1 研究関連

- (1.E) 4/20 現在 , Ruby による SlackBot プログラムの作成に取り組んでいる . 今回が初めての Ruby を用いてのコーディングであるので , よく言語仕様を調べながらコーディングを進める .

3.2 研究室関連

- (5) 本 Git 勉強会では , Git の概要と , その仕組み , および使い方について学んだ . これまでほとんど Git を利用することがなかったが , これを機に積極的に Git を利用し , Git を十分に使いこなせるようになる .

3.3 大学関連

特になし .

4 今後の予定

4.1 研究関連

- (1) (4/27) 第 351 回 New 打ち合わせ

4.2 研究室関連

- (1) (5/14) 乃村研ミーティング
(2) (5/11) Patchwork Okayama -2018

4.3 大学関連

- (1) (4/23, 24 , 5/1 , 7 , 14 , 15) 非手続き型言語